



「あきらめない」

副校長 村田 篤子

「あきらめたら、そこで試合終了ですよ」

これは、「スラムダンク」というバスケットボール漫画の中の言葉です。漫画の中では、主人公のいるチームが「絶対勝てないであろう」と思われていた相手に大逆転をして勝つのですが、先日、まるでこの漫画のようなことが起こりました。

8月末から9月初旬にかけて行われたバスケットボールのワールドカップ。

下の表は、大逆転「歴史的勝利」と言われたフィンランド戦での点数を示したものです。

途中までは負けていた日本。18点差をつけられてしまった瞬間もありました。

3Q 途中で 18 点差！

	1Q	2Q まで	3Q まで	4Q 終了
日本 	22 	36 	63 	98 
フィンランド 	15	46	73	88

いろいろなドキドキがあったはず！

ところが、日本の選手たちは、最後まで絶対にあきらめませんでした。残り4分30秒のところで逆転。世界大会で日本が勝利したのは17年ぶりだそうです。試合中、いろいろなドキドキがあったでしょうが、「あきらめない」姿はとてまかっこよく、心に残りました。

「漫画みたいなことができるわけない」とあきらめてしまう…そんな気持ちになったこと…きっとありますね。けれども、逆転のシュートを決めた「河村勇輝選手」は、都筑区にあるバスケットボールチーム「横浜ビーコルセアーズ」の選手です。漫画の主人公ではなく、とても身近にいる22歳のお兄さんです。

頑張りどころは、人それぞれでしょう。運動のことも、勉強のことも、友達とのことも。どんな場合だって、「あきらめない」と子ども達には声をかけ続けたいと思います。ドキドキするかもしれないけれど、そのあなたの姿はとてまかっこよいんだよ、と。